

2011年6月28日

高校生は何を重視して志望校を決めているか

高校生の進路選択に関する調査「進学センサス 2011」より

株式会社リクルート(本社:東京都千代田区 代表取締役社長 兼 CEO: 柏木 齊)は、高校生の進路選択の現状を明らかにするため、進路選択行動の時期やプロセス、進路選択に際しての意識などについての調査を実施いたしました。この度調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告いたします。

◆前回調査(2009年)より志望校検討時の

「就職に有利であること」・「資格取得に有利であること」の重視度が高まる

- ・ 前回調査(2009年)と比較し、高校生が進路選択で重視する項目上位10項目において順位が上昇したのは、「就職に有利であること」前回調査(2009年)5位(46.2%)から4位(47.8%)へと、「資格取得に有利」が同8位(37.2%)から7位(39.2%)へ。

◆大学・短大進学者は「校風や雰囲気」、専門学校進学者は「就職に有利であること」を重視

- ・ 最終進路別にみると、重視している進学者が最も多かったのはすべて共通で「学びたい学部・学科・コースがあること」(大学74.7%、短大83.4%、専門学校72.8%)。しかし、重視している進学者が2番目に多いのは大学・短大進学者が「校風や雰囲気が良いこと」(大学53.4%、短大63.0%)であるのに対し、専門学校進学者では「就職に有利であること」(62.0%)となっている。

◆「就職に有利」と感じるポイントは、「就職率のよさ」に加え、

男子は「大手・有名企業への就職実績」、女子は「就職活動のサポート体制」と異なる

- ・ 進路選択時の「就職に有利」と感じるポイントを男女別にみると、男女とも1位は「企業への就職率がよいこと」(男子57.5%、女子56.2%)だが、男子は2位「大手・有名企業への就職実績がよいこと」(37.9%)、3位「希望する業界への就職が強いこと」(32.0%)であった。女子は、2位「就職活動のサポート体制がしっかりしていること」(42.9%)、3位「希望する業界への就職が強いこと」(36.8%)とつづく。

◆3人に1人が「授業料が安いこと」を重視

- ・ 志望校を検討する際の進学関連費用についてどの程度重視しているかを聞いたところ、「授業料が安いこと」が33.2%でトップ。つづいて、「奨学金制度が充実していること」(26.8%)、「受験料の割引制度があること」(21.1%)、「特待生制度が充実していること」(15.6%)であった。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

【調査概要】

■調査目的

高校生の進路選択プロセス(行動・意識)の現状を把握する。

■調査期間

2011年3月18日(金)～4月8日(金)投函締切

■調査方法

質問紙による郵送法

■調査対象

2011年3月11日の東日本大震災の影響を考慮し、
「青森、秋田、山形、岩手、宮城、福島的全エリアと茨城一部エリア(注1)を除く全国」の高校に在籍する
2011年3月高校卒業の男女8万544人

※平成22年度学校基本調査の「全日制・本科 3年生生徒数(県別)」を基に、
リクルートが保有するリスト(注2)より調査対象とする数を算出

(注1)茨城で調査対象から外したエリアは、石岡市、潮来市、稲敷郡、稲敷市、小美玉市、笠間市、鹿嶋市、かすみがうら市、
神栖市、北茨城市、久慈郡、桜川市、高萩市、那珂郡、那珂市、行方市、東茨城郡、常陸太田市、常陸大宮市、日立市、
ひたちなか市、銚田市、水戸市

(注2)リクルートが保有するリストとは、(株)リクルートが発行する進学情報誌「リクルート進学ブック」および、
配信する進学情報WEBサービス「リクルート進学ネット」(<http://shingakunet.com>)会員リストのことである。

■有効回答数

1万882人(回答率13.5%)(注3)

(注3)最終進路内訳は大学7502人、短大700人、専門学校1479人、浪人678人、就職329人、進路未定173人
うち、本集計では、2009年調査との比較を実施するため、さらに2009年調査エリア(埼玉、千葉、東京、神奈川、
愛知、京都、大阪、兵庫)に絞った5650人が対象

■2009年同調査概要

- ・調査期間:2009年3月19日(木)～4月8日(水)投函締切
- ・調査方法:2011年調査同様
- ・調査対象:埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知、京都、大阪、兵庫エリアの2009年3月高校卒業の男女3万7381人
割付方法は2011年調査同様
- ・有効回答数:5961人(回答率15.9%)

【集計対象者プロフィール】

■性別(進学者(浪人含む)／単一回答)

	調査数	(%)		
		男子	女子	無回答
2011年 進学者(浪人含む) 全体	5650	41.4	57.9	0.7
2009年 進学者(浪人含む) 全体	5961	42.9	56.5	0.6

最終進路別	調査数	男子	女子	無回答
2011年 進学者(浪人含む) 全体	5650	41.4	57.9	0.7
大学	4313	43.5	55.9	0.6
短大	332	5.4	93.4	1.2
専門学校	577	29.5	69.8	0.7
浪人	428	64.7	35.0	0.2

■高校卒業後の進路(進学者(浪人含む)／単一回答)

	調査数	進学者				浪人予定 (予備校)	進学者
		大学	短期大学	専門学校	浪人予定 (予備校)		
2011年 進学者(浪人含む) 全体	5650	76.3	5.9	10.2	7.6	92.4	
2009年 進学者(浪人含む) 全体	5961	73.5	6.5	11.3	8.6	91.3	

2011年 進学者(浪人含む) 全体		調査数	大学	短期大学	専門学校	浪人予定 (予備校)	進学者
男女別	男子	2339	80.1	0.8	7.3	11.8	88.2
	女子	3274	73.6	9.5	12.3	4.6	95.4

■高校所在エリア(進学者(浪人含む)／単一回答)

	調査数	(%)								
		埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	愛知県	京都府	大阪府	兵庫県	無回答
2011年 進学者(浪人含む) 全体	5650	13.6	11.5	21.9	14.6	11.2	4.7	13.9	8.6	—
2009年 進学者(浪人含む) 全体	5961	13.9	9.1	22.5	13.8	11.4	5.2	14.5	9.5	—

最終進路別	調査数	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	愛知県	京都府	大阪府	兵庫県	無回答
2011年 進学者(浪人含む) 全体	5650	13.6	11.5	21.9	14.6	11.2	4.7	13.9	8.6	—
大学	4313	13.0	11.5	22.5	14.6	11.7	4.8	13.4	8.5	—
短大	332	13.3	10.2	17.5	14.5	12.0	5.7	17.8	9.0	—
専門学校	577	16.6	12.7	16.3	14.0	9.9	4.0	16.3	10.2	—
浪人	428	15.7	10.7	26.9	16.1	7.0	4.2	12.6	6.8	—
男女別	男子	2339	13.7	11.0	21.8	15.1	11.2	5.2	13.5	8.4
	女子	3274	13.5	12.0	21.9	14.3	11.1	4.4	14.3	8.6

【志望校検討時の重視項目】

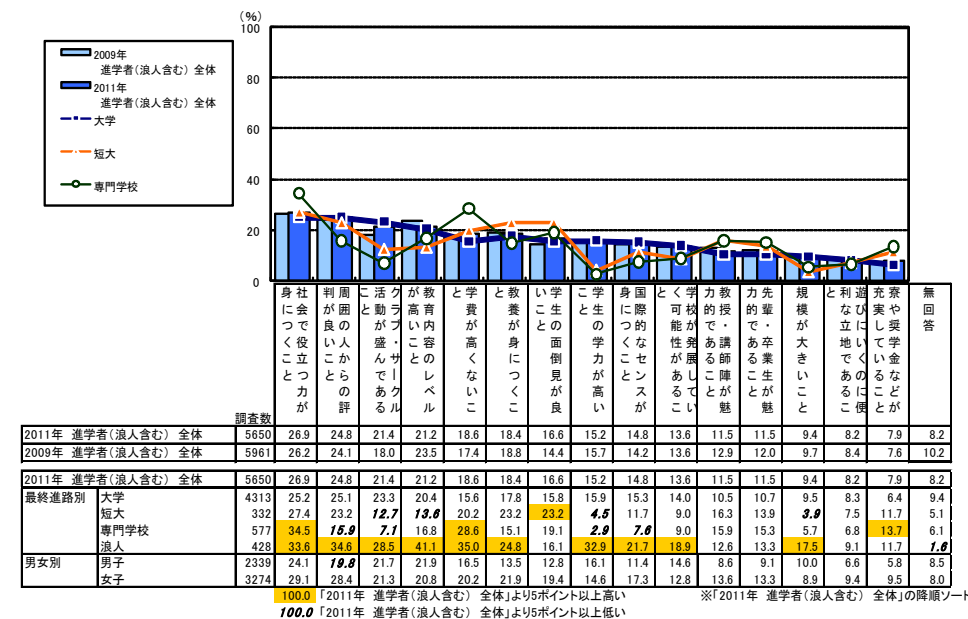
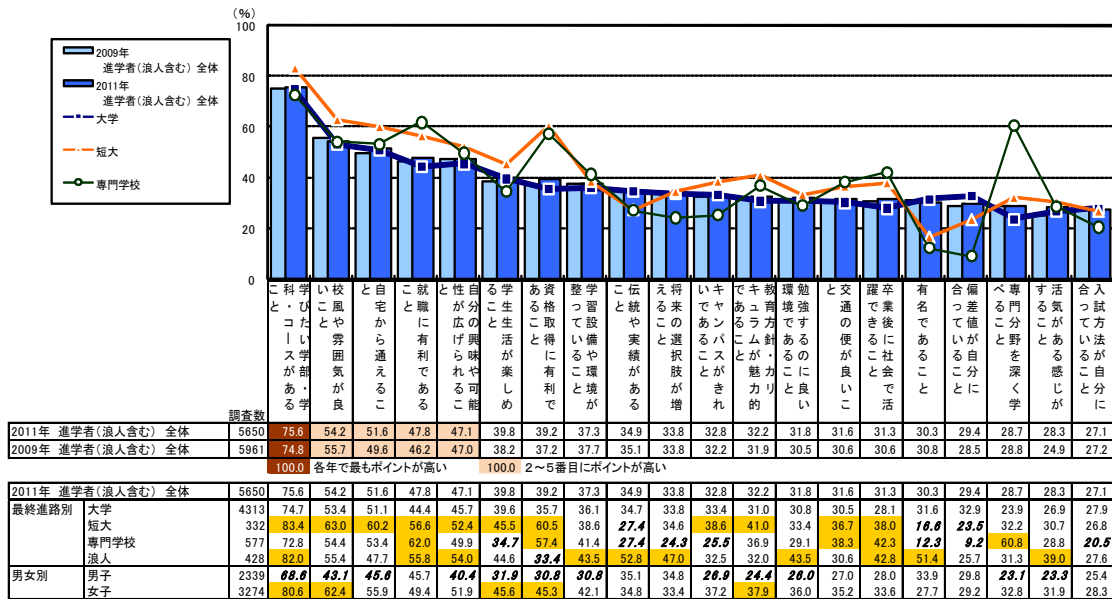
◇志望校検討時の「就職に有利であること」「資格取得に有利であること」の重視度高まる

- ・志望校検討時の重視項目は、進学者(浪人含む)全体で、1位「学びたい学部・学科・コースがあること」(75.6%)、2位「校風や雰囲気が良いこと」(54.2%)、3位「自宅から通えること」(51.6%)、4位「就職に有利であること」(47.8%)、5位「自分の興味や可能性が広げられること」(47.1%)の順であった。
- ・前回調査(2009年)と比較し、上位10項目までで順位変動があったのは、「就職に有利であること」が前回調査(2009年)5位(46.2%)から4位(47.8%)へ、「資格取得に有利であること」が同8位(37.2%)から7位(39.2%)へ。

◇大学・短大進学者は「校風や雰囲気」、専門学校進学者は「就職に有利であること」を重視

- ・最終進路別にみると、最も多くの進学者が重視しているのはすべて共通で「学びたい学部・学科・コースがあること」(74.7%、短大83.4%、専門学校72.8%)。しかし、2番目に多くの進学者が重視しているのは大学・短大進学者が「校風や雰囲気が良いこと」(大学53.4%、短大63.0%)であるのに対し、専門学校進学者では「就職に有利であること」(62.0%)。
- ・男女別にみると、男女とも1位「学びたい学部・学科・コースがあること」(男子68.6%、女子80.6%)であるが、2位は男子が「就職に有利であること」(45.7%)、女子は「校風や雰囲気が良いこと」(62.4%)。

■志望校検討時の重視項目(進学者(浪人含む)／複数回答)



【「就職に有利」と感じるポイント】

◇就職に有利と感じるのは、

1位「企業への就職率がよいこと」、2位「就職活動のサポート体制がしっかりしていること」

・進学者(浪人含む)全体で、就職に有利と感じるポイント1位は「企業への就職率がよいこと」(56.7%)、2位は「就職活動サポート体制がしっかりしていること」(37.6%)、3位は「大手・有名企業への就職実績がよいこと」(35.8%)であった。

◇＜最終進路別(校種別)傾向＞

大学：「大手・有名企業への就職実績」

短大：「就職活動のサポート体制」や「希望する職種につきやすいこと」

専門学校：「希望する職種につきやすいこと」を重視する傾向

・最終進路別では、すべての校種で1位は「企業への就職率がよいこと」(大学57.2%、短大52.1%、専門学校46.4%)。2位は大学進学者は「大手・有名企業への就職実績がよいこと」(37.4%)、短大進学者は「就職活動のサポート体制がしっかりしていること」「希望する職種につきやすいこと」(ともに46.4%)、専門学校進学者は「希望する職種につきやすいこと」(43.2%)。

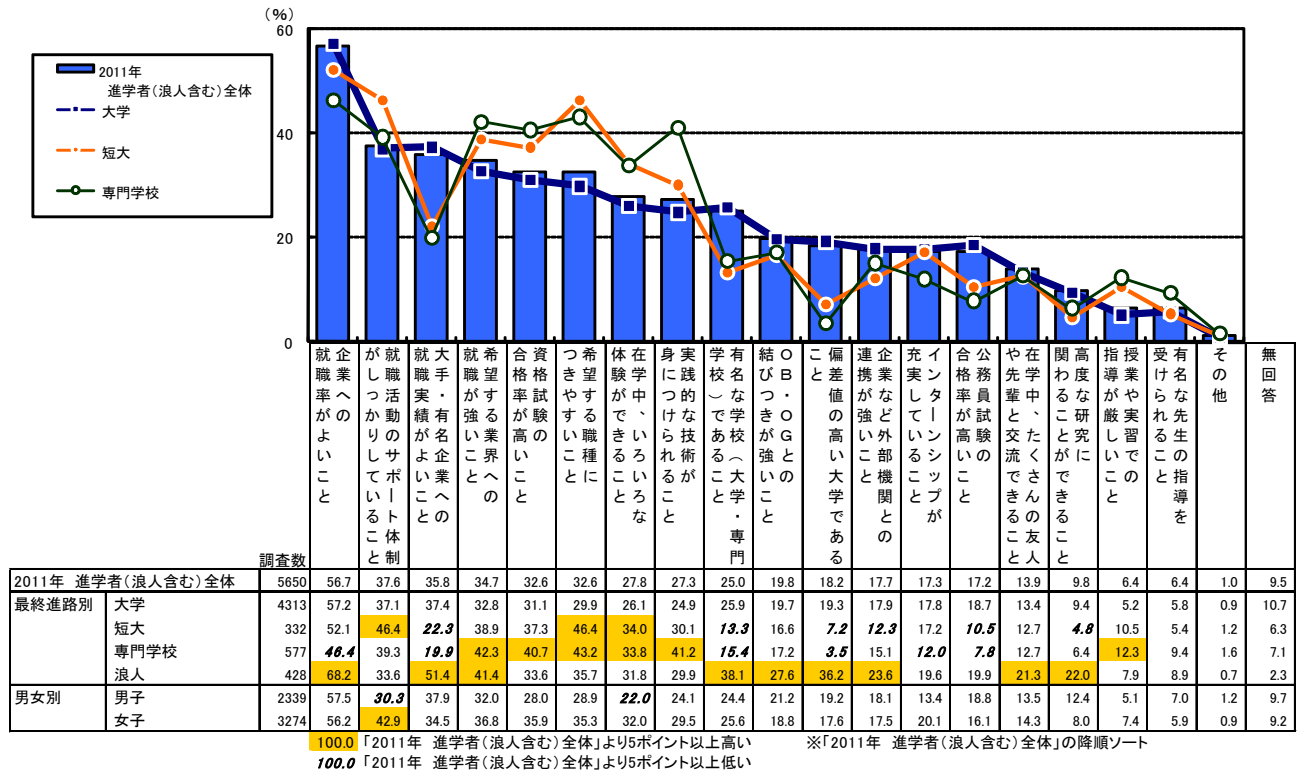
◇＜男女別傾向＞

男子：「大手・有名企業への就職実績」

女子：「就職活動のサポート体制」に期待

・男女別にみると、男女とも1位は「企業への就職率がよいこと」(男子57.5%、女子56.2%)だが、男子は2位「大手・有名企業への就職実績がよいこと」(37.9%)、3位「希望する業界への就職が強いこと」(32.0%)であった。一方女子は、2位「就職活動のサポート体制がしっかりしていること」(42.9%)、3位「希望する業界への就職が強いこと」(36.8%)の順であった。

■「就職に有利」と感じるポイント(進学者(浪人含む)／複数回答)



【志望校検討時の「進学関連費用」の重視度】

◇3人に1人が「授業料が安いこと」を重視

- ・志望校検討時の「進学関連費用の」重視度は、「授業料が安いこと」については33.2%、「奨学金制度が充実していること」については26.8%、「受験料の割引制度があること」については21.1%、「特待生制度が充実していること」については15.6%。
- ・最終進路別にみると、専門学校進学者が「授業料が安いこと」「奨学金制度が充実していること」「受験料の割引制度があること」「特待生制度が充実していること」の4項目について、大学進学者、短大進学者より重視している。
- ・男女別にみると、男子に比べて女子のほうが「奨学金制度が充実していること」「特待生制度が充実していること」「授業料が安いこと」などについて重視している。

■進学関連費用への重視度（進学者（浪人含む）／各単一回答）

